

河口堰の開門調査 国への働き掛けを

市民団体、県に要請書

長良川の環境改善を求め
る二十の市民団体でつくる
「よみがえれ長良川実行委
員会」は九日、長良川河口
堰の開門調査の検討を国に
働き掛けるよう求める要請
書を県に提出した。

河口堰は、塩水の流入を
防ぐために一九九五年から
本格運用されている。実行
委は河口堰の閉鎖で淡水と
海水が混ざり合つ汽水域が
なくなり、環境や漁業に影
響しているとして、試験的
な開放を求めている。

粕谷志郎共同代表が、県
河川課の岩井聖課長に要請
書を手渡した。実行委のメ
ンバーは「開門して生態系
を豊かにしてほしい」など
と要望。岩井課長は「塩害
が発生しない範囲で、弾力
的な運用を要請する」と応

2022.6.10 中日新聞

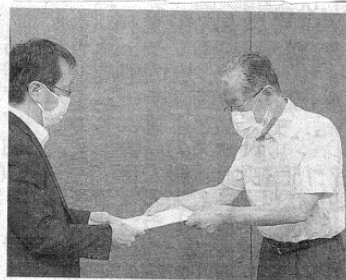
じた。
実行委はほかに、徳山ダ
ムの水を長良川に流す木曾
川水系連絡導水路や、美濃
市横越地区の遊水地計画な
どの中止を求めた。
(長屋文太)

河口堰の開門調査要請

よみがえれ
長良川実行委 県側は応じず

長良川の河口堰開門と環
境改善を目指す市民団体で
つくる「よみがえれ長良川
実行委員会」は九日、県に
河口堰の開門調査の実施な
どを求める6項目の要請を

2022.6.10 岐阜新聞



県河川課の担当者に要請書を
提出する粕谷志郎共同代表
(右) 県議会棟

行った。
実行委の粕谷志郎共同代
表らが県議会棟を訪れ、開
門調査のほか、木曾川水系
連絡導水路事業の中止や郡
上市の内ヶ谷ダム事業の再
検討などを求める6項目の
要請書を県河川課の担当者

に手渡し、意見交換した。
県は開門調査について
「塩害が発生しなければ調
査を実施してもいいが、発
生の可能性は払拭されて
いない」とし「塩害が発生
しない範囲での弾力的運用
を今後も水資源機構に求め
ていく」と回答した。この他
の項目についても県側は応
じなかった。(湯浅裕作)